

産廃いわて

2014-10 平成27年1月13日発行

かわらばん

一般社団法人 岩手県産業廃棄物協会

TEL019-625-2201 FAX019-624-1920

URL : <http://www.iwatesanpai.or.jp>



新春講演会

新年明けましておめでとうございます。

次のとおり新春講演会を開催します。今回は南部杜氏（とじ）の里で全国的にも珍しい女性杜氏として活躍されている小野裕美さんを講師にお招きし、酒造りへの情熱を語っていただきます。

（申込みは1/16（金）まで）

日時：平成27年1月23日（金）15:30～17:00

場所：ホテルメトロポリタン盛岡本館 4F 岩手の間

演題：日本酒の魅力について

※ 参加費は無料です。

終了後の新春懇話会の参加費は6,000円です。



災害廃棄物対策の検討

環境省では、東日本大震災をはるかに上回る規模の巨大地震が発生した際の災害廃棄物対策について委員会を設けて検討しているところですが、全国産業廃棄物連合会からの意見案が示されていますので紹介させていただきます。内容は、平成24年度の第11回産業廃棄物と環境を考える全国大会のパネル討論会での門協会長の発言のとおりです。廃棄物のとらえ方について本気で議論しなければならない状況になりました。

●連合会意見案の骨子1

災害廃棄物処理にあたり、市町村間の事前通知、都道府県による処理施設設置許可（仮設を含む）等の手続きに時間を要しており、緊急時には、平常時の手続きを簡素化する制度としておく必要があること。

●連合会意見案の骨子2

災害廃棄物は一般廃棄物扱いとなるものの、性状としては産業廃棄物に近い。このため、災害廃棄物とは何かとの定義の整理を行うとともに、必要に応じて災害廃棄物処理における一般廃棄物、産業廃棄物の定義の見直し等が必要であること。



青年部会研修会

当協会青年部会の研修会が11月28日（金）に盛岡市内のホテルで開催されました。

今回は、全国廃棄物教育センター連合会理事長の松岡力雄様に講演をお願いし「産業廃棄物処理業界の現状と展望」について約30名の部会員が聴きました。また、小原事務局次長から「格付け制度のすすめ」について解説がありました。

終了後は忘年会に突入り、部会員が増えて勢いがついていたこの1年を振り返りながら交流しました。





ジャンパー新調

産業廃棄物と環境を考える全国大会に合わせてスタッフジャンパーを作りました。ご覧のとおり各種サイズがありますので、今後ともイベントなどの際にご協力をお願いします。



ステップアップ研修会

12月2日(火)に盛岡市で「産業廃棄物排出企業ステップアップ研修会」を開催しました。

産業廃棄物のことがよく分からない、もっと勉強したいなど感じている産廃を出す会社の方々を対象に、産廃処理のルールや実務上役立つコツなどを分かりやすく解説したもので、約70名の方々が受講しました。今後もこのような企画を続けたいと考えています。



中長期ビジョン策定

12月12日(金)の理事会で当協会が独自にまとめた「中長期ビジョン」の最終案が承認されました。

2年ほどかけてアンケートや訪問により会員の皆様のご意見を集めながら議論を重ねて参りました。

詳しい内容は改めて解説する予定ですが、主な柱は次のとおり。今後はこれに沿った展開になりそうです。

- 1 快適で安全安心な環境の確保
 - ・地球温暖化対策の促進
 - ・優良な産業廃棄物処理業者の育成
- 2 安定した産業廃棄物の処理体制の確立
 - ・適正処理の推進、循環型地域社会への取組み
 - ・大規模な災害に備えた取組み
- 3 地域社会との共生
 - ・住民理解、組織強化
- 4 情報の管理・発信
 - ・情報管理体制強化、情報発信力強化、政策提言



事務局便り

【会員の方へお願い】

会員事項に変更があった場合は、「変更届」の提出をお願いします。様式は、協会ホームページ(会員の方へ)からダウンロードできます。

◆編集後記◆

新しい年が明けました。

今年が皆様にとって良い年でありますようにお祈りしています。

